

# 総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、9人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。

★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ

### 共生社会のまちづくり

佐藤 貴子 議員



**問** 障がい者分野だけにこだわらない附属機関の委員への登用の見解を伺う。

**総務部長** 附属機関の委員への参画については、障がいの有無で判断してはいない。それぞれの附属機関の設置目的に応じて参画してもらっている。

**問** 障がいのある人が、審議会委員へ手を挙げる環境づくりについて伺う。

**総務部長** 障がいのある人が、附属機関や審議会にさまざまな意見を言うことは大変重要なことだが、附属機関は特定の目的を達成するために設置しており、委員は特定の目的を達成するための知識や経験を有し、意見をするため、その点も考慮する必要があると考える。

**問** 障がいのある人も一市民として積極的に参加することは、皆が持つ権利である。兵庫県明石市では障がいのある人を委員として加える条例が制定されたが、本市の見解を伺う。

**副市長** 「福祉街区」は、

**健康・こども部長** 児童生徒を取り巻く社会環境は大きく変化しており、学校では、包括的な教育で示されている、発達段階に応じた性に関する科学的な知識を学習すると共に、生命尊重、人間尊重、性別に関わらず、誰もが平等であるという精神を持ち、性に関して正しく理解し、適切な行動を選択できるよう、効果的に進めていくことが大切である。本市では、国が推進する「生命(いのち)の安全教育」の視点から、公教育を担う学校への包括的な性教育の啓発に努めている。

### 健康・こども部長

**問** 女性だけでなく、男性も含めて性を学ぶ場が必要だと考えるが、見解を伺う。

**社会教育部長** 市民への学習機会の提供の役割が大変大きいと認識している。家庭や行政などが連携して全体で支え合っていくのが重要である。公民館での講演会や、平塚市地域教育力ネットワーク協議会で学ぶ機会を設けており、事業の企画を工夫し、性に関する学習の機会の拡充や充実を図っていくよう努めている。

**副市長** 4年9月にUR都市機構と、北街区のサウンディング調査として、内閣府主催の「生涯活躍のまち」のマッチングイベントに参加し、民間事業者や団体と個別に意見交換を行った。引き続き、北街区への、「ふれあい」と「にぎわい」の創出に資する機能の誘致に向けて、UR都市機構と継続的に調査、協議を行っていく。



### 新たなまちづくり

須藤 量久 議員

### 地域医療福祉拠点整備モデル地区構想

**問** 「平塚高村団地及びその周辺地域における地域医療福祉拠点整備モデル地区」と北街区に分け、令和3年度からは、南街区を「福祉街区」と「医療街区」に分けて整備を進める予定だが、事業内容について伺う。

**副市長** 「ふれあい」と「にぎわい」の創出に向けた機能の誘致を目指す、北街区の

**問** 「ふれあい」と「にぎわい」の創出に向けた機能の誘致を目指す、北街区の

**問** UR都市機構や事業者、地域との積極的な情報交換や共有、発信の現状と

**副市長** UR都市機構は、北街区の整備について、今年度中に事業者公募を行うことを目標としている。全



### 農地の集積化で明るい未来を

黒部 栄三 議員

**問** 本市では令和2年度からスマート農業に対する補助を行い、最新技術を使った農業機械導入を進めてきたが、小さな場合は、先進的な農業機械の費用対効果は限定的になってしまっている。ほ場の大区画化については、3年9月定例会で同僚議員の質問に対して「大規模化を検討していきたい」との答弁があったが、その後の検討状況を伺う。

**産業振興部長** 現在進めている金田地区への新たなライスセンター設置に向け、スマート農業の活用と合わせて、水田の集積・集約化や大区画化を地域農業者やJA湘南と話し合ってきた結果、集積・集約化を進める公的な組織である「農地


**問** 農家は先祖伝来の土地を守り、大事にするため、知らない人に土地を貸したり交換することが進まないが、本市は県内一の米生産地であり、高齢化でそれらいつまで続くかと憂慮している。今のうちに農地の集積化をしなければ先細り、いくらか最新鋭の農業機械を導入しても、扱う人がい

**問** 農家は先祖伝来の土地を守り、大事にするため、知らない人に土地を貸したり交換することが進まないが、本市は県内一の米生産地であり、高齢化でそれらいつまで続くかと憂慮している。今のうちに農地の集積化をしなければ先細り、いくらか最新鋭の農業機械を導入しても、扱う人がい

**市長** 権利の集約がとても難しい問題ではあるが、努力をしてもらい、ライスセンターが新しくできるいい機会のため、取り組んでいくべきであると思う。農水産課を含め、農業関係や産業関係、農協と一緒にスマート農業の効率的な運用に向けて大規模化を進めていく。その中で最終的に新たな言葉の3Mに向かって進めていくべきだと考える。

**会議録検索のご利用を**

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。



**清風クラブ 所属議員**



数田 俊樹 議員



野崎 審也 議員



坂間 正昭 議員



片倉 章博 議員